

長谷川春子 はるか 洋畫家、隨筆家。明治二十八年一月、二十八東京生れ、昭和四十二年五月八日歿（一九五一年）。劇作家長谷川時雨の妹。双葉高等女學校を経てマテホ・フランセシ學ぶ。鍋木清方、梅原龍二郎の先輩。昭和四年渡歐。國畫會會員。

著書、小畫集『長春畫集』（昭和四年二月十五日女人藝術社）、『滿洲國』（昭和十年一月、十五日）（笠書房）、『戲畫漫文』（昭和十一年一月、二十日昭森社）、『北支那疆域線』（昭和十四年五月、二十日曉書房）、『南の處女地―佛印紀行』（昭和十五年十一月十五日）（笠書房）、『大ぶらしき』（昭和二十年十一月、二十日）（日本雄弁會講談社）『ミリアン・ブックス』（『ポニジジの愛するべし』（昭和二十一年十一月、二十日生活社）、『孤妻塚縁起』（昭和二十一年八月五日）（合著）近藤白虫造編、昭和二十二年八月一日雪華社）等。



孤妻塚縁起とは……
 当世名代の毒舌女史が、繪筆をペンに代えて執り、描いた男性解剖図！
学風堂